

令和 3 年度
部局運営方針
(振り返り)

令和 4 年 4 月



The Ambitious City

部局運営方針振り返りとは

当該年度の部局運営方針に対して、年度終了後に振り返りを実施します。

なお、振り返りにおける事業総括の選択肢は以下のとおりです。

事業総括選択肢

- a.事業はすべて予定どおりに進捗した、b.事業はおおむね予定どおりに進捗した
- c.事業はあまり予定どおりに進捗しなかった、d.事業はまったく進捗しなかった

ヒアリング日程

令和4年4月21日(木)及び4月22日(金)

目次

企画財政部	01
総務部	02
市民環境部	03
保健福祉部	05
子育て支援部	06
建設部	07
経済部	08
水道部	10
会計室	12
議会事務局	14
監査委員事務局	15
教育部	16
消防本部	18

1 振り返り

【事業総括】 (b)事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】

- ・ 駅西口周辺エリア活性化事業では、市有地 A について個別事業計画を策定することができ、具体的な整備に向けて進めることが出来た。
- ・ 地域公共交通網形成計画推進事業では、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、さんぼまち・東部線においては大幅に利用者が低迷した。再編後の検証は次年度に持ち越しており、抜本的な検討を進める必要がある。
- ・ 都市景観形成事業では、太陽光施設整備における景観保持の考え方を検討したとともに、屋外広告物条例の制定を行った。
- ・ ふるさと応援事業では、個人はもとより企業版ふるさと納税の展開を強化し実績を上げた。
- ・ ポールパーク構想の推進では、周辺工事を順調に進めたとともに機運醸成に向けた各種取り組みを進めたところ。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策では、国の補正予算を活用し数次にわたる補正予算を編成し対応にあたったところ。

1 振り返り

【事業総括】 （b）事業はおおむね予定通りに進捗した。

【特記事項】

- ・議案書のペーパーレス化 令和3年第3回定例会から実施【総務課】
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止の各種対応を実施(行事等の中止・簡略化。庁舎感染防止措置)【総務課】
- ・行政組織の検討及び定年延長への対応検討【職員課】
- ・人材育成と働き方改革の推進【職員課】

	H30	R1	R2	R3
時間外勤務時間数	76,083h	82,753h	72,129h	70,874h
1人当たり平均時間数	182h	197h	167h	168h
年間360時間超職員数	40名	46名	41名	32名
時間外勤務手当額	183,237千円	193,211千円	167,425千円	(集計中)

- ・内部業務系のノートPC更新導入によるペーパーレス化の推進【行政管理課】
- ・債権の適正管理に向け条例制定し、債権管理課の設置による債権一元化体制構築【税務課】
- ・班長(課長職等)が参加した災害対策本部訓練の実施【防災危機管理室】
- ・厳冬期におけるペット同行避難の飼養環境等に係る検証等を実施【防災危機管理室】
- ・大曲並木地区A及びBエリア宅地耐震化対策工事完了【防災危機管理室】
- ・みどりの里住民集会所の建て替え工事完了【防災危機管理室】

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】

市民課

交通安全、防犯及び暴力追放運動等における街頭啓発については、新型コロナウイルス感染症の影響により、殆ど中止となったが、商業施設等にメッセージを記載した啓発物品を配置する啓発活動や詐欺や不審者への注意喚起を広報車にて促すメロディーパトロール等を実施し啓発等に努めることができた。

交通安全について、第11次の交通安全計画を策定したほか、各地区の交通安全協会などの関係団体等との連携により、交通事故死ゼロ1,000日を達成することができた。地域コミュニティ活動ガイドラインの改訂や活動に関する相談対応などコミュニティ活動に対する支援を行った。また、地域コミュニティ施設の備品整備や修繕を行ったほか、西の里複合施設の整備や住民集会所の適正配置に向けて検討を進めた。

個人番号カードの普及について、国が示す方針に基づき、カードの交付に係る人員を増員するなどして、カードの普及に努めることができた。

〔対前年比1.4倍、R4・3月末 交付枚数22,028枚、交付率37.9%〕

エルフィンパーク市民サービスコーナー

エルフィンパーク市民サービスコーナーの今後のあり方について、現状分析と想定される課題などについて、整理検討を行った。

環境課

地球温暖化対策の推進について、高効率給湯暖房機（17件）、太陽光発電システム（2件）、ペレットストーブ（2件）の設置支援を実施した。

特定外来生物のアライグマについて、年々捕獲頭数が増加しており、令和3年度は209頭を捕獲した。

地震や風水害によって発生する災害廃棄物を適正かつ迅速に処理し、市民生活の復旧を図ることを目的とする災害廃棄物処理計画を策定した。

収集運搬体制の再構築及びごみ処理手数料の見直しについて、クリーン北広島推進審議会に諮問し、審議会からの答申を受けて、新たな収集運搬体制を決定した。

クリーンセンターにおける廃棄物受入基準の厳格化及び事業系一般廃棄物収集運搬許可業者を対象に展開検査を実施し、分別や減量化を促進した。

市民参加・住宅施策課

空き家対策事業について、空家等に対する苦情が増加傾向（R元年度 27 件、R2 年度 32 件、R3 年度 39 件）にある中、「準特定空家」として認定している物件の緊急安全措置（屋根の雪おろし）を実施するなど、周辺的生活環境の保全に努めた。

住み替え支援事業について、家屋所有者に需要喚起を促すために、新たに北海道が主催する空き家相談会に参画するとともに、法令不適合物件等に対して助言を実施した。公益活動事業補助金として、北広島さんぼまち商店会が実施した「まいぴー・ボールパークエコバックの製作と市民抽選無料配布」に対して補助を行い、地域振興等への取組を支援した。

男女共同参画推進事業について、第3次男女共同参画プランを策定し、また、普及啓発に向けて、男女共同参画パネル展を行った。

新規事業として、多様な性のあり方への理解促進事業に取り組み、性的マイノリティに関するセミナーの開催、市民意識調査、ハンドブックの作成などを実施した。

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施しているフォーラムやセミナーの開催を一部中止した。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業は概ね予定どおりに進捗した。

【特記事項】

保健福祉部では、令和3年度大きく4項目の基本方針のもと、14項目の重点事項を設定し、各種事業に取り組んできたところです。

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初の事業目標を達成できなかったものもありますが、各担当課においては、創意工夫と市民の協力をいただきながら事業の推進に努めてきたところです。

また、基本方針(4)の事務処理誤りにかかる対応については、各課において事務手続、マニュアル等の見直しを実施し、改善を行ったところであります。

なお、重点事項のうち事業目標を達成できなかったものは次のとおりです。

○避難行動要支援者対策事業

令和3年度においては、「要支援者名簿の管理等にかかる協定締結と名簿配布の促進」、「個別支援計画策定に関する課題の整理」を事業目標としていたが、コロナ等の影響による自治会等との連携・協力体制の構築が不十分となり事業目標を達成することができませんでした。

○後期高齢者歯科健診事業

事業目標において、実施予定者数を100名としていたが、実績としては13名でした。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定通りに進捗した。

【特記事項】 予定通りに実施できたもの

(1) 保育施設の受け入れ態勢の確保

子ども・子育て支援プランで必要とされる病児保育と保育量の確保に向け、ボールパーク内に病児保育機能付き認定こども園を整備するため、所要の協議や補助申請を行った。

（令和5年4月～保育定員44人増）

(2) 子どもの権利擁護、貧困対策事業

中学生の塾・習い事の費用の一部を補助する「子ども未来応援事業」を継続するとともに、学習・生活支援機能及び児童センター機能を備えた子ども「第三の居場所」の整備について検討を行った。

(3) 子ども家庭総合支援拠点の設置

複雑・多様化する児童虐待等への対応として、必要な情報の共有、支援方針の検討、調査訪問等によるソーシャル業務などを行う「子ども家庭総合支援拠点」を事業化し、必要な協議・調整を行ったうえで、総合相談機関である保健福祉部福祉総合相談室へ移管した。

(4) 学童クラブ関係

運営委託の検討のため、民間事業者のヒアリングや委託導入済みの自治体の視察により情報収集し、委託により期待される効果等について学童支援員へ説明及び意見聴取を行った。また、パブリックコメントと保護者説明会の実施により情報の開示と市民意見の聴取を行った。

施設の整備について、新型コロナウイルス感染症対策として、全学童クラブ12か所に計23台の加湿器を設置した。

(5) 子ども発達支援センター事業

北海道の「市町村中核子ども発達支援センター事業」として、子どもの発達支援に関する講演会の開催、保育所・幼稚園等へ訪問相談を実施するなど、地域の発達支援体制の充実と支援力の向上に努めた。

（発達支援講演会4回開催・参加者224人、訪問相談施設等25か所）

(6) 地域子育て支援センター事業

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う休館があったが、解除後は利用人数・時間の制限等の感染対策を行った中で開館し、「みんなの広場*」「子育て講座」を実施した。

（施設利用者4,983人 前年比1,058人増）

また、子育てのための様々な情報をまとめた「きたひろしま子育てガイド」を、官民協働事業により財政負担を伴わずに発行した。

「みんなの広場」…幼児の遊びと親同士が交流できる場。

1 振り返り

【事業総括】 (b)事業はおおむね予定通りに進捗した。

【特記事項】

(1) 道路整備事業について

市道整備事業については、交付金の削減により、市道南9号線を見送ることとなったが、国の補正予算を活用し市道大曲椴山線を中心に概ね計画通り実施した。

(2) 事業用地の取得について

用地取得については、地権者の都合などにより一部取得年次を変更したケースもあるが、事業進捗に影響を及ぼさず用地取得を行った。

(3) 都市公園の整備について

交付金が削減されたものの、公園施設長寿命化計画に基づき、やまぶき公園の造形遊具、緑葉公園の防球フェンス、ひばり公園、わかくさ遊園地、あけぼの遊園地の遊具等の更新、開拓記念公園の照明設備の更新を実施した。

(4) 橋梁の補修について

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、開拓橋、広栄橋、広葉橋、高台陸橋、泉陸橋の補修工事を予定通り実施した。

(5) 大曲並木地区災害復旧について

北海道胆振東部地震により被災した大曲並木地区の災害復旧については、残るAエリア及びBエリアの宅地耐震化工事、みどりの里住民集会所建替え工事の完了をもって復旧事業を終了した。

(6) 土木事務所移転事業について

土木事務所移転事業については、予定通り造成工事を行った。

(7) 公営住宅長寿命化事業について

公営住宅長寿命化事業については、北広島市公営住宅長寿命化計画を令和4年3月に策定した。

1 振り返り

【事業総括】(b)事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】

<農政課> グリーン・ツーリズム推進事業ほか

- ・グリーン・ツーリズム推進事業については、農園マップを星槎道都大学との連携によりアイコン等をデザイン、電子化しGoogleマップへ掲載して利用者の利便性を高めた。
- ・六次産業化等支援事業については、6次産業化に取り組む農業者を対象に魅力発信力の向上に関する研修会を開催し、情報発信技術の向上と意識高揚を図るとともに、商品開発等事業3件の交付決定を行い、製品化や販路開拓にかかる支援を行った。
- ・森林経営管理事業では、森林経営管理法に基づく施業の実現に向け、森林の現地調査等による施業箇所を優先順位を決定した。
- ・有害鳥獣被害防止対策では、今年度新たに積雪期における罠によるエゾシカの捕獲を行い、6頭捕獲した。

<観光振興課> 都市型観光推進事業ほか

- ・次期観光基本計画の策定に向けて、現計画の課題や成果を取りまとめた報告書を作成したほか、観光事業者等を対象にアンケート調査、都市型観光推進協議会での意見交換を実施するなど、策定方針に基づく検討に着手した。
- ・令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、各種イベントが中止となり、観光資源を活用した本市のPR、誘客等が困難な一年となった。また、令和3年6月に観光協会が一般社団法人となり、自主自立的な運営が開始されたものの、制約がある中での法人化1年目の活動となった。

<商工業振興課> 買物不便者対策事業ほか

- ・買物不便者対策事業は、コープさっぽろとの連携による移動販売について、利用促進のため運行エリアの見直しなどを行ったほか、市内3か所で開催した「買物サービス活用講習会」においてガイドブックの配付やサービス等の説明を行い、地域住民の買い物サービス活用促進に努めた。
- ・創業促進支援事業は、コミュニティビジネスで3件の事業を指定したほか、9月、10月に創業者や創業検討者、支援機関などを対象に創業フォーラムを開催（27人参加）し、事例発表や意見交換などにより創業機運醸成に努めた。
- ・多文化共生推進事業は、企業向けの相談窓口の設置、採用セミナーの開催のほか、外国人同士や希望する市民を対象とした日本語教室や市内バス見学などの交流事業を実施し、多

文化共生への理解を広げ、地域住民と外国人とのつながり構築に努めた。

- ・新型コロナウイルス感染症に係る経済対策は、国の地方創生臨時交付金を活用した、プレミアム付商品券の発行や飲食店向けの協力支援金の支給、会計年度任用職員の任用など、様々な支援事業を実施して市内の事業者や離職者等への支援に努めた。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定通りに進捗した

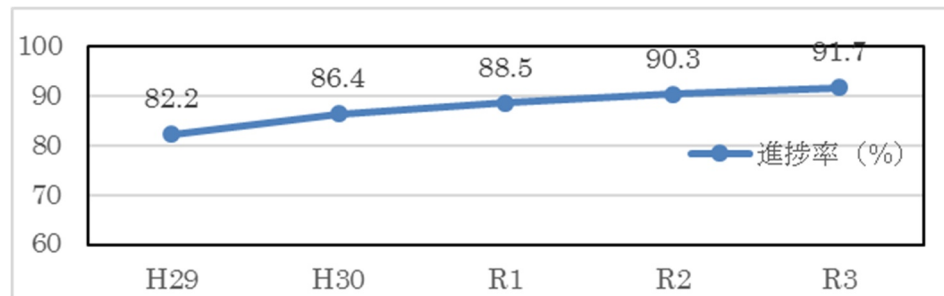
【特記事項】

(1) 「施設の耐震化など」

- 『水道』 西の里旧配水池の耐震補強（2ヶ年工事）完了 補助金事業
 幹線配水管（エルフィンロード）を耐震管へ更新 補助金事業
 耐震化率 H30 28.4% R1 29.1% R2 30.3% R3% 31.8%
- 『下水道』 令和3年度の実施なし

(2) 「老朽施設の計画的更新」

- 『水道』 経営戦略に基づく老朽管更新事業について北広島団地を重点的に実施
 老朽管更新計画（第1期）進捗率



西の里配水池電気計装・機械設備更新実施設計委託を実施

- 『下水道』 アクア・バイオマスセンターの受変電設備・脱硫設備を更新

(3) 「経営基盤の強化」

- ・下水道ビジョン・経営戦略の改定を実施（審議会を4回開催）
- ・水道事業及び下水道事業の経営戦略の事後検証を行い結果を公表
- ・青葉浄水場跡地の処分に向けた測量・調査の実施及びプロポーザル審査委員会設置条例を整備
- ・ボールパーク整備区域内の上下水道施設でネーミングライツ収入を確保
- ・地下水利用者の水道水利用促進に向け実態調査を実施

(4) 「DXの推進に向けたICTの活用推進」

- ・水道使用に関する届出のインターネット受付及び料金のクレジット決済導入に向け、「検針・収納等業務」の業務範囲追加
- ・スマートメーターの導入に向け、実証実験を試験を実施（継続中）

・給水装置・排水設備工事申請書様式の電子化を実施

(5) 「その他」

新型コロナウイルス感染症対策として料金等納期限延期を実施（R2.3月から継続中）
延べ14人、延期金額794,692円（上下水道合計）

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した

【特記事項】 入札・契約事務等の適正な執行について

当初執行計画 167 件の建設工事等に対して、最終実績として 176 件（9 件増）の入札を実施し、公平性・透明性を確保しつつ、担当課と調整を図りながら発注時期に影響を及ぼすことなく、適正な契約事務を執行した。また、課長職以下の正職員、再任用職員、任期付職員を対象に契約実務研修（テスト含む）をオンデマンドにより実施した。

市有財産の売却について

未利用市有地処分等に関する基本方針に基づき、「積極的に処分するもの」に分類された「西の里北五丁目 2 番 1」、「稲穂町東四丁目 4 番 3」については、一般競争入札により処分した。

会計事務の適正な執行について

現金の出納及び保管並びに記録管理、小切手の振り出し、支出負担行為に関する確認や決算の調製など、法令に基づく会計事務を執行するとともに、「会計事務の手引き」等を庁内に周知し、適正な会計事務処理に努めた。また、課長職以下の正職員、再任用職員、任期付職員等を対象とした会計実務研修（テスト含む。）をオンデマンドにより実施した。

指定納付受託者制度導入に係る対応について

地方公共団体の歳入等について、スマートフォンアプリ等を利用した決済方法を柔軟に活用することができる環境整備を図ることを目的として、令和 4 年 1 月 4 日に導入された指定納付受託者制度を活用した歳入等の納付に係る条件整備（会計規則の改正）を行なった。

北洋銀行北広島中央支店市役所派出所の廃止に向けた対応について

令和 4 年 9 月廃止の提案を受けている北洋銀行北広島中央支店市役所派出所について、市民サービス維持の観点から、本庁舎内における公金収納を継続していくことを基本に、今後の公金取扱業務体制を検討した結果、令和 4 年 10 月から直営方式による公金取扱を実施する方針が固まった。

適切な工事審査・検査について

ボールパーク事業などに伴い、工事等の設計・施工に関する審査が当初 105 件に対し最終実績は 132 件と約 3 割の増、検査が 114 件に対し 122 件と約 1 割の増となったが、正確かつ迅速な審査に努め、各工事等の発注時期に影響を及ぼすことはなかった。また、検査についても適切な時期に実施することができた。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定どおりに進捗した。

【特記事項】 (1) 行政視察の実施（総務常任委員会・民生常任委員会・議会広報編集委員会）
新型コロナウイルス感染症拡大に鑑み、委員会の視察を中止した（令和2年度に続き2年連続となった）。

(2) 議会改革

・議会 ICT 化推進事業

令和3年第3回定例会から本運用を実施した（令和2年第4回定例会から全議員にタブレット端末を試行貸与）。

会議でのペーパーレス化のほか、諸会議の開催通知や行政情報の提供、議員間の情報交換など適時円滑に行うことができた。

ペーパーレス化（議案書等紙資源の節減）の効果（試算）は、令和3年の議会（4定例会3臨時会）として 2,406 千円となっている。

・議会改革の取組

議会研修計画を策定した（令和4年3月16日開催の会派代表者会議において決定）。

常任委員会のインターネット中継について検討を行ったが、複数の課題があることから次期改選期に向け検討していくこととされた。

(3) 広報機能の充実

常任委員会のインターネット中継について検討を行ったが、複数の課題があることから次期改選期に向け検討していくこととされた。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】

(1) 「令和3年度北広島市監査実施方針及び年間監査計画」に基づく監査

5月中旬から予定をしていた財政援助団体等監査については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施検査は見送ったが書面審査は行い、当該補助金等の所管課の定例監査時に、その結果内容も含め指導助言等を行った。

また、地方自治法等に定められている定例監査、決算審査、健全化判断比率等審査、例月出納検査などは、令和3年度の監査計画どおりに適法性、経済性、効率性、有効性の観点から実施することができた。

(2) 実効性ある監査

今年度、制度改正された内容に準じて事務処理がなされているか、前年度の定例監査の結果で指摘した事項が、指摘の趣旨に沿って是正、改善されているかなどを中心として確認しながら実施をした。また、指摘事項については対象の課にとどまらず、全部局としての共通認識が図るよう、公記録保管庫に掲載し、周知をした。

令和3年度の監査結果

()は令和2年度分

監 査 名	対象部局	指摘事項の あった部局	指摘件数		
			文書	口頭	計
定例監査	17	14 (14)	37 (58)	51 (71)	88 (135)

文書指摘のうち、市長への指摘事項は2件(1件)

(3) 開かれた監査

透明性の高い開かれた監査とするため、監査結果の報告や指摘事項の改善措置等について、市のホームページに掲載するなど市民への情報提供をした。

(4) 事務局職員のスキルアップ等

北海道都市監査委員会等が実施する研修会等に積極的に参加し、職員のスキルアップや他市の監査状況など情報交換などに努めることとしていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定されていた協議会や研修会が中止や書面会議となったため、他市との交流などが思うようにできなかった。

1 振り返り

【事業総括】(b)事業はおおむね予定どおりに進捗した。

【特記事項】

(教育総務課)

- ・児童生徒用 PC1,420 台を導入し 1 人 1 台端末環境を整備するとともに、中学校校務用 PC を更新した。
- ・国の補正予算等を活用し、大曲東小学校校舎大規模改造事業（1 期工事）及び西の里小学校講堂非構造部材耐震化工事を実施した。

(学校教育課)

- ・英語検定等支援事業において、小中学生計 266 名に検定料の助成を行った。
- ・心の教室相談員及びスクールカウンセラーの配置時間を増加することで、相談しやすい環境の充実を図り、不登校児童生徒数の増加等の抑制を図った。（推移： R 元：76 名、R2：85 名、R3：86 名）
- ・適応指導教室においてオンライン学習に対応するための Wi-Fi 環境の整備を行った。

(小中一貫・教育施策推進課)

- ・学校適正規模・適正配置検討事業を推進するため、通学区域審議会の答申を踏まえ、新たに北広島市立学校適正配置等審議会を設置するなど令和 4 年度以降に向けた取組を推進した。
- ・小中一貫教育全国サミット in 北広島をデジタル開催し、1,670 人の参加（視聴）があった。

(社会教育課)

- ・新型コロナウイルス感染症のため、30^キロードレースや元気フェスティバルなどの事業を中止したが、北海道日本ハムファイターズと連携したスポーツアカデミー事業として、「親子スポーツ教室」や「ダンチャレ」を実施した。
- ・家庭教育支援について、新たな手法として、オンラインセミナーを実施した。
- ・国のモデル事業の指定を受け、市内関係機関で構成される障がい児者の学び地域コンソーシアムを設置し、ポッチャ普及動画や「ビッグフラッグ」の作成などの事業を実施した。

(文化課)

- ・新型コロナウイルス感染症のため約 2 ヶ月の臨時休館があったが、前年比で、図書館は約 92%、ホールは約 97%の利用状況であった。

(エコミュージアムセンター)

- ・「東部地区サテライト」(自然遺産6か所、歴史遺産6か所)を指定した。
- ・史跡旧島松駅逋所保存活用計画及び史跡旧島松駅逋所整備基本計画を策定した。
- ・特別天然記念物野幌原始林保存活用計画策定事業について、指定地の現地調査を引き続き実施した。

(学校給食センター/参事)

- ・コロナウイルス感染症拡大による学校閉鎖や学級閉鎖、記録的な大雪にも対応した学校給食の安定提供を実施した。
- ・防災食育センターの実施設計・粗造成工事を実施するとともに、令和4年度からの本工事に向けた防衛局との円滑な調整及び補助申請を行った。

1 振り返り

【事業総括】 (b) 事業はおおむね予定通りに進捗した

【特記事項】 警防課

- ・石狩振興局管内消防救急デジタル無線維持管理は、平成25年度に共同整備し維持管理しており、計画通りである。（事業費見込み：5,678,294円）
- ・札幌圏消防通信指令共同整備事業は、令和7年度の消防共同指令センターの運用に向けた実施設計を行った。
（事業費見込み：6,521,771円）

救急課

- ・救急体制強化事業は、救急救命士就業中病院実習については、12名の予定が1名の実施となり、応急手当普及啓発事業については、開催予定回数を100回、受講者数を約2,300人と見込んだ中で実施回数は45回、受講者数は945人となり、いずれも新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響で予定通りに進捗しなかった。

予防課

- ・予防査察推進活動はコロナ禍で立入検査可能期間が限定される中、通信査察を活用し管理者の防火意識や消防設備点検結果報告率の向上ができた。
- ・北広島市防火委員会推進事業についてもコロナ禍で事業中止が多かったが、代替事業で幼年消防クラブ員への防火意識の向上が図られた。
- ・住宅用火災警報器普及啓発活動は、広報や掲示による啓発活動はおおむね予定通りに実施した。接触を減らすためリーフレット配布は減少したが、大型販売店での放送や大型掲示板の活用で市民に啓発した。

その他

- ・新型コロナウイルス感染症の影響から火災予防運動、歳末警戒、出初式は縮小または中止、各種研修会、会議はWEB会議や書面会議で実施したものが多かった。